

令和7年度徳島県田園環境検討委員会

I 日 時

令和8年2月2日（月）午前9時30分から午前10時40分

II 場 所

徳島県庁11階 審問室

III 出席者

【委員】河口洋一、住友美佐子、板東達生、森紗綾香
（アイウエオ順 敬称略 5名中4名出席）

【オブザーバー】内藤芳香

【 県 】 農山漁村振興課長、生産基盤課長他

IV 委員会次第

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

（1）農業農村整備事業の「環境との調和への配慮」について

（2）農業農村整備事業の環境配慮実績について

4 閉 会

<配付資料>

- ・会議次第
- ・配席図
- ・徳島県田園環境検討委員会等設置要綱
- ・徳島県田園環境検討委員会委員名簿
- ・審議地区の環境との調和への配慮取組み
- ・環境配慮実績報告書

V 会議録（要旨）

1 開 会

2 挨拶 農山漁村振興課長

3 議 事

(1) 農業農村整備事業の「環境との調和への配慮」について

① 老朽ため池等整備事業 仁宇のため池地区

【委員】

ため池は主に農業用として利用されているのか。また、耕作放棄地は多くはないのか。

【県】

農業用として利用されている。受益面積は 3.6ha 程度であり、耕作放棄地は少ないエリアである。

【委員】

有識者の意見において、特定外来生物のオオクチバスの駆除や、ニシキゴイ・フナ類の適切な処理として、地元と協議の上で池外への移動等が挙げられているが、ニシキゴイは地域の方に大切にされている場合があると思われる。

【県】

おそらく誰かが放流したものであると思われるが、落水前に地元の方へ確認した上で対応したい。

【委員】

特に地元から意見がなければ、ニシキゴイに限らずコイは生態系へ影響を及ぼすため、駆除した方がよい。

【オブザーバー】

工事の影響を受けるユキモチソウはサトイモ科の植物であり、花が傷ついても球根が残っていれば定着すると思われる。ユキモチソウは成長すると雄株から雌株となり種をつけるため、移植することは次の更新につながることであり有意義である。

【委員】

植物においても複数の外来種が確認されていることから、希少種だけではなく外来種の拡散防止の観点からも、必要以上に土を移動させない等、環境を改変しないよう現場作業中は意識していただければと思う。また、地域住民の意向アンケートに、景観づくりのために道路の緑化を行っていくことが必要であるとの意見があるが、良かれと思って園芸品種を植栽することが、在来種だけでなく希少種にも影響してしまう恐れがあることを、地域住民に対して伝えた方がよいと思われる。

【委員】

希少な生き物がいることの価値をフリースクールや地元の学校等の教育に活用できるといいのかもしれない。希少種保護のため情報公開には配慮が必要だが、「知らないものは守れない」という側面もあるため、博物館等の意見を聞きながら、教育に活用できるといいのかもしれない。

【県】

本日、欠席の委員から事前に意見を頂いている。魚類避難場所となるプールの設置は、水深が浅すぎると避難場所として機能しないため、規模に留意すること。一方、カワムツは比較的個体数が多いため下流へ放流することや、アカハライモリは上流の水溜りに放流する等の対策とし、プールの設置に労力を使わないことも検討してよいのではないかとの意見があった。

【委員】

浅いプールは鳥類による捕食等のリスクがある。プールの設置により、他の生育環境にも影響を及ぼす恐れもあるため、無理に設置しなくてもよいと思われる。

(2) 農業農村整備事業の環境配慮実績について

【オブザーバー】

長生中央地区のオグラコウホネの定植にあたっては、定植後に根が浮き流れる恐れがあるため、麻紐等のネットと石で固定する等の工夫が必要である。また、水生植物は pH の影響を受けやすいため、工事完了後すぐに定植するのではなく、コンクリートのアルカリ成分の溶出が落ち着いた後に定植することが望ましい。個体採取にあたっては、遺伝的多様性を考慮し、1箇所には偏らず、複数地点から個体を採取することも留意していただければと思う。

【委員】

長生中央地区の水路内の流速は、改良後どの程度になるか。

【県】

長生中央地区は平地部であり、流速は小さい。

【委員】

植物のモニタリング等は順調であると思われるが、魚類の保全是難航しているように思われる。類似環境へ避難させたものの、うまく定着しない原因等の検討はしているか。

【県】

専門家に相談の上、検討を進めている。

【委員】

定着がうまくいかなかった場合でも、条件を記録し、引き継ぐことが大事である。博物館等の専門家と相談しながら実績を整理していくことを、是非検討していただければと思う。

4 閉 会